

第1学年3組 算数科学習指導案

1 題材名 なんばんめ

2 題材について

本題材では、前題材までに学んだ集合数の学習をもとに、数には順序を表す意味としての使い方(順序数)があることを知り、数の理解をより深めていく。児童はこれまでの日常生活における競争場面や物が並んでいる場面などで○番目、△番目と数で順序や位置を表現する機会を自然と持っている。本題材ではこれらの数が順序や位置を表すものであることをはっきりと理解させるとともに、「～から何番目」という表現から順序や位置を調べるときは、数えはじめる基準をはっきりさせる必要があることをおさえていくようにする。

また本題材では絵を提示して考えさせるだけではなく、身近にある座席やカレンダーの日付などから、日常生活に順序数を取り入れることにも挑戦していきたい。

3 題材の目標

- ・ 順序や位置を表すのに、進んで数を用いようとしている。
- ・ 順序を数を用いて表せることの良さに気づき、それを生活の場で活用しようとする。
(関心・意欲・態度)
- ・ 数を順序や位置を表すものとしてとらえている。(数学的な考え方)
- ・ 前後などの言葉と数を用いて、順序や位置を表すことができる。(技能)
- ・ 数を用いて順序や位置が正確に表せることを理解する。(知識・理解)

4 題材の指導計画

- (1)順序とはどのようなものかを写真を使って具体的に考える。 …1 時間
- (2)順序数と集合数の意味の違いについて活動を通して理解させる。 …2 時間

5 本時の学習指導(3/3 時)

(1)目標

- 順序数の理解を一層深め、ものの位置を正しく表すことができる。
- 上下・左右などの言葉と数を用いて、ものの位置を表そうとしている。(関心・意欲・態度)
- 上下・左右などの言葉と数を用いて、ものの位置を表すことができる。(技能)

(2)展開

学習活動	指導上の留意点	時間
1.前回の授業の復習をする。	○教科書と筆箱は机にしまうよう指示する。	5'

2.絵を見て場面について話し合う。 C1 教室で男の子と女の子が話しているね。 C2 時間は8時だね。 C3 ランドセルと帽子が机の上にあるよ。	○前回の授業で学んだことをきき、復習させる。 ○P29の絵を黒板に掲示する。	5'
3.「とけい」に注目させ、どのような表現の仕方があるか考える。		5
めあて：ものの いちを あらわそう。		
C1 時計はドアの近くにあるよ。 C2 時計は時間割の上にあるね。 C3 時計は黒板の右斜め上にある。	○時計はどこにあるか聞く ○位置を表すのに、「〇〇の上」などの表し方があることを気づかせる ○題材名を掲示する。	
4.「おんなのこ」に注目し、「とけい」とは違う表現の仕方があるか考える。		
問題：おんなのこはどこにいるでしょう。		
C1 おんなのこは席に座っているよ。 C2 おんなのこは一番前の席に座っている。 C3 おんなのこはひだりから2番目の席に座っているよ。	○位置を表すのに、「前から〇番目」などの表し方があることを気づかせる。 ○「おんなのこはランドセルから数えて左に三番目の席にいる」など基準を変えていろいろな位置の表し方ができることに気づかせる。	10"
5. ほかのものの位置を表す問題をつくる。		
問題：教科書をみて、問題をつくり、発表しましょう。		
C1 帽子はどこにあるでしょう。 C2 帽子は前から2番目の机にあります。 C3 帽子は左から三番目の机にあります。 C4 帽子は男の子の机の隣にあります。 C5 ランドセルはどこにあるでしょう。	○教科書(P29)を開く。 ○黒板にめあてを書く。 ○発表の仕方を書く。 ○同じものを表すにも、何通りかの表し方	

C6 ランドセルは一番前の机にあります。 C7 水槽はどこにあるでしょう。 C8 水槽は棚の上にあります。 C9 テレビはどこにあるでしょう。 C10 テレビは左の前の棚の上にあります。	があることに気づかせる。	
6.教室で自分の席はどう表せるか、ワークシートを使って考える。	○机間指導をして、どのような問題を出しているか見て周る。 評「前から○番目」「○○の隣」など自分の席をいくつかの表し方で表すことができる。 ○時間に余裕があったら隣同士で発表しよう。	15
7.授業のまとめをする。	○ものの位置を表すには「○○の上」だけでなく、「○○から○番目」などの考え方がある。	5"

<板書計画>

教科書の掛け図	めあて ものの いちを あらわそう はっぴょうの しかた ○○はどこにあるでしょう。 ○○は～にあります。
---	--